

3

県民生活



通勤・通学時間 101分（1時間41分） **3-01**
 全国第1位

指標 2016年の神奈川の通勤・通学時間（行動者平均時間、10歳以上）は101分（1時間41分）で、100分を超えるのは神奈川のみとなっており、全国第1位です。男性の平均は107分（1時間47分）、女性の平均は91分（1時間31分）となっており、共に全国第1位です。なお、女性の平均で1時間30分を超えるのも神奈川のみとなっています。

この統計は [平成28年社会生活基本調査]

用語 総平均時間と行動者平均時間

行動の種類別平均時間は、1人1日当たりの平均行動時間数で、総平均時間と行動者平均時間があります。

総平均時間は、該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均時間です。それに対して、行動者平均時間は、該当する種類の行動をした人のみについての平均時間です。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1次活動 | 3次活動 |
| ● 睡眠 | ● 移動（通勤通学除く） |
| ● 身の回りの用事 | ● テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 |
| ● 食事 | ● 休養・くつろぎ |
| 2次活動 | ● 学習・自己啓発・訓練（学業以外） |
| ● 通勤・通学 | ● 趣味・娯楽 |
| ● 仕事（収入を伴う） | ● スポーツ |
| ● 学業（学生のもの） | ● ボランティア活動・社会参加活動 |
| ● 家事 | ● 交際・付き合い |
| ● 介護・看護 | ● 受診・療養 |
| ● 育児 | ● その他 以上20種類 |
| ● 買い物 | |

女性の育児時間 35分 **3-04**
 全国第1位

指標 2016年の神奈川の女性の育児時間（総平均時間、15歳以上）は35分で、全国第1位です。男女総計では第2位（20分）、男性では第10位（6分）となっています。

この統計は [平成28年社会生活基本調査]

睡眠時間 453分（7時間33分） **3-02**

指標 2016年の神奈川の睡眠時間（10歳以上）は453分（7時間33分）となっており、埼玉、千葉に次いで3番目に短く、1位の秋田との差は29分となっています。

この統計は [平成28年社会生活基本調査]

2次活動の平均時間 433分（7時間13分） **3-03**

指標 2016年の神奈川県内の2次活動の平均時間（総平均時間、15歳以上）は神奈川に次いで全国第2位の433分（7時間13分）となっています。最下位の秋田との差は50分となっています。

この統計は [平成28年社会生活基本調査]

用語 行動の種類（1次、2次、3次活動）

20種類に分類した行動を大きく3つにまとめ、生理的に必要な活動を「1次活動」、社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動を「2次活動」、これら以外の自由時間における活動を「3次活動」としています。

子供がいる世帯の妻と夫の行動別総平均時間

（単位：分）

| 行動の種類 | 神奈川 | | | 夫婦差の全国平均 |
|-------|-----|-----|------------|----------|
| | 妻 | 夫 | 差 (妻-夫) | |
| 睡眠 | 461 | 425 | 36 | 7 |
| 食事 | 98 | 82 | 16 | 4 |
| 通勤・通学 | 16 | 89 | -73 | -40 |
| 仕事 | 89 | 485 | -396 | -340 |
| 家事関連 | 487 | 75 | 412 | 371 |
| 家事 | 198 | 15 | 183 | 170 |
| 介護・看護 | 4 | 1 | 3 | 5 |
| 育児 | 254 | 41 | 213 | 176 |
| 買い物 | 31 | 18 | 13 | 20 |

15歳以上を対象とする総平均時間（抜粋）

この表は、6歳未満の子供がいる世帯（夫婦と子供の世帯）の妻と夫について、行動の種類別総平均時間の差を示したものです。差の値がプラスに大きいほど夫よりも妻がその行動をする時間が長く、マイナスに大きいほど夫よりも夫がその行動をする時間が長いことを示します。神奈川の家事関連（家事、介護・看護、育児、買い物。該当数字のない「-」で示された値は「0」として集計）の時間は妻が夫より412分（6時間52分）長く、全国平均（371分）と比較して41分長くなっています。

統計情報 社会生活基本調査

平成28年社会生活基本調査 [総務省統計局]
 公表日：2017.7.14～順次公表 公表周期：5年ごと
 国民の生活時間の配分や自由時間における主な活動を調査し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進など各種行政施策の基礎資料として利用されています。1976年以来5年ごとに実施されており、2016（平成28）年調査は全国で約

8万8千世帯の10歳以上の世帯員を対象に、平成28年10月20日現在で実施されました。

ただし、生活時間の配分についての調査は、10月15日～23日までの9日間のうち連続する2日間を調査日としました。

また、1日の行動を家事や睡眠等20種類に分類し、15分単位で時間帯別の行動状況を調査しました。

●通勤・通学時間

3-01

2016年
男女総計の上位

| 順位 | 都道府県 | 男性 | 女性 | 男女 総計 |
|----|------|-----|----|----------|
| | 全 国 | 82 | 70 | 77 |
| 1 | 神奈川 | 107 | 91 | 101 |
| 2 | 千葉 | 105 | 84 | 97 |
| 3 | 埼玉 | 101 | 81 | 93 |
| 4 | 東京 | 97 | 84 | 91 |
| 5 | 奈良 | 98 | 78 | 90 |
| 6 | 大阪 | 87 | 79 | 83 |
| 7 | 兵庫 | 85 | 71 | 79 |
| 8 | 茨城 | 80 | 71 | 76 |
| 8 | 愛知 | 81 | 68 | 76 |
| 8 | 京都 | 81 | 70 | 76 |

男女総計の下位

| 順位 | 都道府県 | 男性 | 女性 | 男女 総計 |
|----|------|----|----|----------|
| 36 | 香川 | 63 | 56 | 60 |
| 36 | 愛媛 | 62 | 57 | 60 |
| 36 | 佐賀 | 63 | 56 | 60 |
| 39 | 鹿児島 | 63 | 55 | 59 |
| 40 | 青森 | 59 | 56 | 58 |
| 40 | 山形 | 61 | 55 | 58 |
| 40 | 福井 | 61 | 55 | 58 |
| 40 | 宮崎 | 61 | 54 | 58 |
| 44 | 秋田 | 59 | 54 | 57 |
| 44 | 鳥取 | 60 | 54 | 57 |
| 44 | 島根 | 61 | 52 | 57 |
| 44 | 大分 | 60 | 54 | 57 |

平成28年社会生活基本調査

●睡眠時間

3-02

2016年
上位

| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
|----|------|-----|----|------|-----|
| | 全 国 | 460 | | | |
| 1 | 秋田 | 482 | 37 | 静岡 | 458 |
| 2 | 青森 | 479 | 37 | 長崎 | 458 |
| 3 | 山形 | 476 | 39 | 茨城 | 457 |
| 4 | 岩手 | 474 | 40 | 大阪 | 456 |
| 5 | 島根 | 473 | 41 | 東京 | 455 |
| 5 | 宮崎 | 473 | 41 | 愛知 | 455 |
| 7 | 高知 | 472 | 41 | 兵庫 | 455 |
| 8 | 北海道 | 471 | 41 | 奈良 | 455 |
| 9 | 福島 | 470 | 45 | 神奈川 | 453 |
| 10 | 新潟 | 468 | 46 | 千葉 | 452 |
| 10 | 鹿児島 | 468 | 47 | 埼玉 | 451 |

平成28年社会生活基本調査

●2次活動の平均時間

3-03

2016年
上位

| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
|----|------|-----|----|------|-----|
| | 全 国 | 418 | | | |
| 1 | 沖縄 | 435 | 38 | 徳島 | 404 |
| 2 | 神奈川 | 433 | 39 | 島根 | 403 |
| 3 | 埼玉 | 429 | 40 | 青森 | 399 |
| 4 | 石川 | 428 | 40 | 和歌山 | 399 |
| 4 | 福井 | 428 | 42 | 宮崎 | 398 |
| 6 | 群馬 | 427 | 43 | 山口 | 397 |
| 6 | 千葉 | 427 | 44 | 愛媛 | 394 |
| 6 | 東京 | 427 | 45 | 北海道 | 392 |
| 9 | 福岡 | 426 | 46 | 高知 | 389 |
| 10 | 愛知 | 425 | 47 | 秋田 | 383 |

平成28年社会生活基本調査

●女性の育児時間

3-04

2016年
女性の上位

| 順位 | 都道府県 | 男女 総計 | 男性 | 女性 |
|----|------|----------|----|----|
| | 全 国 | 16 | 6 | 26 |
| 1 | 神奈川 | 20 | 6 | 35 |
| 2 | 愛知 | 20 | 6 | 34 |
| 3 | 沖縄 | 22 | 11 | 32 |
| 4 | 静岡 | 18 | 7 | 29 |
| 4 | 広島 | 17 | 6 | 29 |
| 6 | 滋賀 | 17 | 7 | 28 |
| 6 | 京都 | 18 | 6 | 28 |
| 8 | 埼玉 | 17 | 7 | 27 |
| 8 | 東京 | 18 | 9 | 27 |
| 8 | 福岡 | 17 | 4 | 27 |

女性の下位

| 順位 | 都道府県 | 男女 総計 | 男性 | 女性 |
|----|------|----------|----|----|
| 38 | 和歌山 | 12 | 5 | 19 |
| 38 | 香川 | 13 | 6 | 19 |
| 38 | 長崎 | 13 | 5 | 19 |
| 38 | 宮崎 | 12 | 5 | 19 |
| 42 | 岩手 | 12 | 5 | 18 |
| 42 | 愛媛 | 11 | 3 | 18 |
| 42 | 高知 | 12 | 6 | 18 |
| 45 | 青森 | 11 | 5 | 16 |
| 45 | 秋田 | 11 | 6 | 16 |
| 45 | 新潟 | 11 | 5 | 16 |

平成28年社会生活基本調査

注釈

3-01

1) 10歳以上、1人1日当たりの平均時間、土日含む週全体の平均、通勤・通学をする人のみの平均(行動者平均時間)。

3-02

1) 10歳以上、1人1日当たりの平均時間、土日含む週全体の平均。

3-03

1) 15歳以上を対象とする、2次活動をしない人も含んだ平均(総平均時間)。

3-04

1) 15歳以上を対象とする総平均時間。

なお、3-01~3-04は平成28年社会生活基本調査の調査票Aに基づく結果のうち、生活時間の配分に関する結果。

スポーツをした人の割合

3-05

72.4%

指標 2016年の調査で、過去1年間にスポーツをした人の人口に対する割合（行動者率）では、神奈川は全国第3位（72.4%）となっています。全国平均は68.8%、1位は東京75.7%、最下位は青森56.0%です。

種類別では神奈川はサッカー、器具を使ったトレーニングが全国第1位、バスケットボール、卓球、テニス、水泳、登山・ハイキングが第2位、野球、サイクリング、ウォーキング・軽い運動が第3位となっています。

この統計は [平成28年社会生活基本調査]

用語 スポーツ

個人の自由時間の中で行うスポーツをいいます。学生が体育の授業で行うものや職業スポーツ選手が仕事として行うものを除き、次の22種類に区分されています。

- 野球
（キャッチボール含む）
 - ソフトボール
 - バレーボール
 - バスケットボール
 - サッカー
（フットサル含む）
 - 卓球
 - テニス
 - バドミントン
 - ゴルフ（練習場含む）
 - 柔道
 - 剣道
 - ゲートボール
 - ボウリング
 - つり
 - 水泳
 - スキー・スノーボード
 - 登山・ハイキング
 - サイクリング
 - ジョギング・マラソン
 - ウォーキング・軽い運動
 - 器具を使ったトレーニング
 - その他のスポーツ
- 以上22種類

ボランティア活動をした人の割合

3-06

25.5%

指標 過去1年間にボランティア活動をした人の人口に対する割合（行動者率）では、神奈川は全国第35位（25.5%）となっています。全国平均は26.0%、1位は滋賀33.9%、最下位は大阪20.6%です。

種類別でみたときに神奈川で最も大きな割合となっているのは子供会の世話、子育て支援ボランティア、学校行事の手伝いなどの「子供を対象とした活動」で9.8%です。特に女性の行動者率は14.0%で全国第1位です。全国的に最も大きな割合（11.3%）となっている道路や公園等の清掃、まちおこしなどの「まちづくりのための活動」が2番目に大きな割合（8.8%）となっています。

この統計は [平成28年社会生活基本調査]

用語 ボランティア活動

報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉増進のために行う活動をいいます。ボランティア団体が開催する催し物などへの単なる参加は除きます。

ボランティアをした人の男女別割合（主な種類）

（ ）は全国平均（単位：%）

| 区分 | 神奈川 | | | |
|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|
| | 総数 | 男 | 女 | 女-男 ポイント差 |
| 子供を対象とした活動 | 9.8 8位 (8.4) | 5.7 34位 (6.0) | 14.0 1位 (10.6) | 8.3 1位 (4.6) |
| まちづくりのための活動 | 8.8 43位 (11.3) | 8.2 45位 (12.3) | 9.4 39位 (10.4) | 1.2 1位 (-1.9) |
| 総数 | 25.5 35位 (26.0) | 21.2 45位 (25.0) | 29.9 12位 (26.9) | 8.7 1位 (1.9) |

女性と男性の行動者率のポイント差を見ると、総数、「子供を対象とした活動」、「まちづくりのための活動」とともに神奈川県が全国第1位となっており、神奈川はボランティア活動において男性と比べた女性の行動者率が全国平均よりも高いことが分かります。

旅行・行楽に行った人の割合

3-07

78.0%

指標 過去1年間に旅行・行楽に行った人の人口に対する割合（行動者率）では、神奈川は全国第3位（78.0%）となっています。

全国平均は73.5%で、1位は東京及び愛知78.5%、最下位は沖縄52.4%です。

この統計は [平成28年社会生活基本調査]

用語 旅行・行楽

旅行とは、1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいいます。

行楽とは、日常生活圏を離れて宿泊を伴わず半日以上かけて行うものをいいます。また、夜行日帰りを含みます。

なお、観光旅行にはレクリエーション・スポーツなどのための旅行を含み、帰省・訪問などの旅行には、そのついでに観光旅行をした場合も含みます。また、ここでいう旅行・行楽には、業務出張・研修、修学旅行、ボランティア活動に参加するための旅行は含みません。また、これらのついでに観光旅行した場合も含みません。

統計情報 社会生活基本調査

平成28年社会生活基本調査 [総務省統計局]
公表日：2017.7.14～順次公表 公表周期：5年ごと
国民の生活時間の配分や自由時間における主な活動を調査し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進など各種行政施策の基礎資料として利用されています。1976年以来5年ごとに実施されており、2016（平成28）年調査は全国で約

8万8千世帯の10歳以上の世帯員を対象に、平成28年10月20日現在で実施されました。

ただし、生活時間の配分についての調査は、10月15日～23日までの9日間のうち連続する2日間を調査日としました。

また、1日の行動を家事や睡眠等20種類に分類し、15分単位で時間帯別の行動状況を調査しました。

●スポーツをした人の割合 3-05

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 68.8 | | | |
| 1 | 東 京 | 75.7 | 38 | 和歌山 | 63.6 |
| 2 | 埼 玉 | 72.6 | 39 | 島 根 | 63.5 |
| 3 | 神奈川 | 72.4 | 40 | 佐 賀 | 63.4 |
| 4 | 千 葉 | 71.6 | 41 | 福 島 | 63.1 |
| 4 | 滋 賀 | 71.6 | 42 | 高 知 | 62.7 |
| 6 | 愛 知 | 71.2 | 43 | 新 潟 | 62.6 |
| 7 | 京 都 | 70.1 | 44 | 山 形 | 61.6 |
| 8 | 兵 庫 | 69.5 | 45 | 岩 手 | 60.6 |
| 8 | 奈 良 | 69.5 | 45 | 秋 田 | 60.6 |
| 10 | 栃 木 | 69.3 | 47 | 青 森 | 56.0 |

平成28年社会生活基本調査

●ボランティア活動をした人の割合 3-06

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 26.0 | 35 | 神奈川 | 25.5 |
| 1 | 滋 賀 | 33.9 | 38 | 愛 知 | 24.6 |
| 2 | 岐 阜 | 33.4 | 38 | 京 都 | 24.6 |
| 3 | 島 根 | 33.1 | 40 | 新 潟 | 24.5 |
| 4 | 熊 本 | 32.7 | 41 | 埼 玉 | 24.2 |
| 5 | 佐 賀 | 32.6 | 41 | 和歌山 | 24.2 |
| 5 | 鹿児島 | 32.6 | 43 | 北海道 | 22.6 |
| 7 | 富 山 | 32.4 | 43 | 高 知 | 22.6 |
| 8 | 長 野 | 32.3 | 45 | 青 森 | 22.4 |
| 9 | 福 井 | 32.2 | 46 | 東 京 | 21.6 |
| 9 | 鳥 取 | 32.2 | 47 | 大 阪 | 20.6 |

平成28年社会生活基本調査

●旅行・行楽に行った人の割合 3-07

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 73.5 | | | |
| 1 | 東 京 | 78.5 | 38 | 和歌山 | 67.4 |
| 1 | 愛 知 | 78.5 | 39 | 徳 島 | 66.8 |
| 3 | 神奈川 | 78.0 | 39 | 鹿児島 | 66.8 |
| 4 | 埼 玉 | 77.9 | 41 | 熊 本 | 66.6 |
| 5 | 滋 賀 | 77.6 | 42 | 宮 崎 | 65.9 |
| 6 | 千 葉 | 77.4 | 43 | 岩 手 | 65.7 |
| 7 | 富 山 | 76.1 | 44 | 長 崎 | 62.2 |
| 8 | 奈 良 | 75.6 | 45 | 高 知 | 60.8 |
| 9 | 三 重 | 75.2 | 46 | 青 森 | 59.4 |
| 10 | 群 馬 | 75.0 | 47 | 沖 縄 | 52.4 |
| 10 | 岐 阜 | 75.0 | | | |

平成28年社会生活基本調査

【スポーツをした人の主な種類別割合】

| 2016年 | 単位：% | | |
|-------------------------|------------------|-----------|-------------------|
| スポーツの種類 (全国の平均) | 1位 | 2位 | 3位 |
| 野球(7.2) ^{*1} | 沖縄(9.9) | 滋賀(9.1) | 神奈川(8.3) |
| バスケットボール (4.3) | 沖縄(6.7) | 神奈川(5.2) | 埼玉(5.0) |
| サッカー(6.0) ^{*2} | 神奈川(8.0) | 千葉(7.4) | 静岡(6.8) |
| 卓球(6.8) | 東京(8.3) | 神奈川(8.1) | 埼玉・ 愛知(8.0) |
| テニス(5.0) | 東京(6.8) | 神奈川(6.4) | 千葉・三重・ 奈良(5.6) |
| 水泳(11.0) | 東京(15.8) | 神奈川(14.4) | 愛知(13.3) |
| 登山・ハイキング (10.0) | 東京(15.0) | 神奈川(14.0) | 奈良(13.2) |
| サイクリング(7.9) | 東京(11.8) | 群馬(9.6) | 神奈川・ 京都(9.1) |
| ウォーキング・ 軽い運動(41.3) | 東京(47.5) | 埼玉(45.3) | 神奈川(44.9) |
| 器具を使った トレーニング(14.7) | 神奈川・ 沖縄(17.2) | 石川(16.6) | 東京(16.5) |

※1 キャッチボールを含む ※2 フットサルを含む

【ボランティア活動をした人の種類別割合】

| 2016年 | 単位：% | |
|----------------------|------|------|
| ボランティア活動の種類 | 全国 | 神奈川 |
| 健康や医療サービスに関係した活動 | 2.9 | 2.9 |
| 高齢者を対象とした活動 | 3.8 | 3.3 |
| 障害者を対象とした活動 | 1.5 | 1.7 |
| 子供を対象とした活動 | 8.4 | 9.8 |
| スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動 | 3.7 | 3.9 |
| まちづくりのための活動 | 11.3 | 8.8 |
| 安全な生活のための活動 | 5.0 | 4.5 |
| 自然や環境を守るための活動 | 4.0 | 3.5 |
| 災害に関係した活動 | 1.5 | 1.5 |
| 国際協力に関係した活動 | 0.9 | 1.0 |
| その他 | 2.6 | 2.4 |
| (総 数) | 26.0 | 25.5 |

【旅行・行楽に行った人の種類別割合】

| 2016年 | 単位：% | |
|------------|------|------|
| 区分 | 全国 | 神奈川 |
| 行楽(日帰り) | 59.3 | 62.1 |
| 旅行(1泊2日以上) | 59.1 | 66.5 |
| 国内 | 58.0 | 65.0 |
| 観光旅行 | 48.9 | 54.3 |
| 帰省・訪問などの旅行 | 26.0 | 32.4 |
| 海外(観光旅行) | 7.2 | 10.6 |
| (総 数) | 73.5 | 78.0 |

注釈

3-05~3-07

- 1) 10歳以上の集計。
- 2) 割合の分母は人口である。
- 3) 2015(平成27)年10月20日~2016(平成28)年10月19日の1年間における当該活動の有無を調査している。

なお、3-05~3-07は平成28年社会生活基本調査の調査票Aに基づく結果のうち、自由時間における過去1年間の主な活動に関する結果。

男女共同参画計画の策定市町村割合 3-08
84.8%が策定

指標 2016年4月1日現在、神奈川県内の33市町村のうち28市町村(84.8%)が男女共同参画に関する計画を策定しています。

全国では、神奈川を含め20県で市区町村の90%以上が計画を策定している一方、3県で40%以下の策定率です。全国平均は73.8%です。

なお、政令指定都市はすべて男女共同参画に関する計画を策定しています。

この統計は [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(平成28年度)]

用語 男女共同参画基本計画

男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的な計画で、政府及び都道府県において策定が義務付けられているほか、市町村においても、男女共同参画社会基本法第14条第3項により、区域における男女共同参画社会の形成の促進に関する施策についての基本的な計画を定めるように努めなければならないことが規定されています。

男女共同参画社会のイメージ図

男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会

職場に活気

●女性の政策・方針決定過程への参画が進み、多様な人材が活躍することによって、経済活動の創造性が増し、**生産性が向上**

●働き方の多様化が進み、男女がともに働きやすい職場環境が確保されることによって、**個人が能力を最大限に発揮**

家庭生活の充実

●家族を構成する個人がお互いに孫登し合い協力し合うことによって、**家族のパートナーシップの強化**

●仕事と家庭の両立支援環境が整い、男性の家庭への参画も進むことによって、**男女がともに子育てや教育に参加**

地域力の向上

●男女がともに主体的に地域活動やボランティア等に参画することによって、**地域コミュニティが強化**

●地域の活性化、暮らし改善、子どもたちがのびやかに育つ環境が実現

ひとりひとりの豊かな人生

仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開でき、男女がともに夢や希望を実現

統計情報 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況

平成28年度男女共同参画社会等施策の推進状況[内閣府男女共同参画局] 公表日：2017.1.16 公表周期：毎年

正式名称は「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(平成28年度)」です。略して「平成28年度男女共同参画社会等施策の推進状況」としました。

県庁審議会等委員の女性比率 34.5% 3-09
市町村審議会等委員の女性比率 30.5% 3-10

指標 2016年における神奈川県庁の審議会等委員1248人のうち、431人が女性で、その比率は34.5%です。

上位10位のうち7県が西日本の県(徳島、山口、宮崎、鳥取、愛媛、島根、福岡)となっており、女性比率が高くなっています。また、全国平均は36.4%です。

(原則として2016年4月1日現在、神奈川は2016年3月31日現在の状況です。)

また神奈川県内市町村の審議会等委員の女性比率は30.5%となっており、全国平均は26.0%です。

この統計は [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(平成28年度)]

用語 審議会等委員

県や市町村など地方自治体が設置する児童福祉審議会や建築審査会などの委員をいいます。

県庁管理職の女性比率 10.9% 3-11
市町村管理職の女性比率 13.8% 3-12

指標 2016年4月1日現在、神奈川県庁の女性管理職は1125人中123人で、割合は10.9%です。

全国1位は鳥取、以下東京、富山、京都と続き、神奈川は第5位です。全国都道府県の平均は8.5%です。

また、神奈川県内の33市町村の女性管理職は6105人中845人で、割合は13.8%です。

全国1位は鳥取、以下富山、徳島、滋賀と続き、全国の市町村の平均は13.5%です。

この統計は [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(平成28年度)]

用語 管理職

本庁課長相当職以上の職を管理職としています(教職員以外で各地方公共団体の定員となっている職員が対象。国家公務員の身分で地方公共団体に出向している職員などを含みません。)

●男女共同参画計画の策定市町村割合 3-08

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|-------|-------|----|-------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 73.8 | 26 | 神奈川 | 84.8 |
| 1 | 青 森 | 100.0 | 38 | 和歌山 | 60.0 |
| 1 | 秋 田 | 100.0 | 39 | 山 形 | 54.3 |
| 1 | 富 山 | 100.0 | 40 | 高 知 | 52.9 |
| 1 | 石 川 | 100.0 | 41 | 福 島 | 47.5 |
| 1 | 三 重 | 100.0 | 42 | 徳 島 | 45.8 |
| 1 | 大 阪 | 100.0 | 43 | 宮 城 | 45.7 |
| 1 | 鳥 取 | 100.0 | 44 | 沖 縄 | 43.9 |
| 1 | 佐 賀 | 100.0 | 45 | 群 馬 | 37.1 |
| 1 | 熊 本 | 100.0 | 46 | 奈 良 | 28.2 |
| 1 | 大 分 | 100.0 | 47 | 北 海 道 | 25.7 |
| 1 | 鹿 児 島 | 100.0 | | | |



平成28年度男女共同参画社会等施策の推進状況

●県庁審議会等委員の女性比率 3-09

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 36.4 | 32 | 神奈川 | 34.5 |
| 1 | 山 形 | 51.4 | 38 | 福 井 | 32.6 |
| 2 | 徳 島 | 50.0 | 39 | 秋 田 | 32.5 |
| 3 | 山 口 | 48.0 | 40 | 三 重 | 32.0 |
| 4 | 宮 崎 | 45.9 | 41 | 沖 縄 | 31.5 |
| 5 | 鳥 取 | 44.9 | 42 | 高 知 | 31.2 |
| 6 | 長 野 | 43.5 | 43 | 大 阪 | 30.2 |
| 7 | 岩 手 | 42.6 | 44 | 千 葉 | 29.1 |
| 8 | 愛 媛 | 42.6 | 45 | 広 島 | 28.4 |
| 9 | 島 根 | 42.4 | 46 | 和歌山 | 27.9 |
| 10 | 福 岡 | 41.4 | 47 | 東 京 | 27.6 |

平成28年度男女共同参画社会等施策の推進状況

●県庁管理職の女性比率 3-11

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------|------|----|-------|-----|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 8.5 | 38 | 奈 良 | 5.4 |
| 1 | 鳥 取 | 17.9 | 39 | 長 崎 | 5.0 |
| 2 | 東 京 | 16.0 | 40 | 福 島 | 5.0 |
| 3 | 富 山 | 11.7 | 41 | 熊 本 | 4.9 |
| 4 | 京 都 | 11.0 | 42 | 北 海 道 | 4.8 |
| 5 | 神奈川 | 10.9 | 43 | 岩 手 | 4.7 |
| 6 | 香 川 | 10.8 | 44 | 山 口 | 4.7 |
| 7 | 岐 阜 | 10.6 | 45 | 秋 田 | 4.7 |
| 8 | 新 潟 | 9.8 | 46 | 和歌山 | 4.4 |
| 9 | 徳 島 | 9.4 | 47 | 長 野 | 4.4 |
| 10 | 島 根 | 9.4 | | | |

平成28年度男女共同参画社会等施策の推進状況

●市町村審議会等委員の女性比率 3-10

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------|------|----|-------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 26.0 | 38 | 山 梨 | 23.2 |
| 1 | 鳥 取 | 31.9 | 39 | 奈 良 | 23.2 |
| 2 | 福 岡 | 30.6 | 40 | 和歌山 | 22.8 |
| 3 | 神奈川 | 30.5 | 41 | 長 崎 | 22.7 |
| 4 | 滋 賀 | 29.9 | 42 | 山 形 | 22.6 |
| 5 | 岡 山 | 29.5 | 43 | 富 山 | 22.5 |
| 6 | 大 阪 | 29.1 | 44 | 北 海 道 | 21.9 |
| 7 | 山 口 | 28.9 | 45 | 鹿 児 島 | 21.8 |
| 8 | 京 都 | 28.4 | 46 | 熊 本 | 21.3 |
| 9 | 沖 縄 | 28.1 | 47 | 群 馬 | 20.3 |
| 10 | 埼 玉 | 28.0 | | | |

平成28年度男女共同参画社会等施策の推進状況

●市町村管理職の女性比率 3-12

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------|------|----|-------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 13.5 | 38 | 佐 賀 | 10.6 |
| 1 | 鳥 取 | 24.4 | 39 | 熊 本 | 9.9 |
| 2 | 富 山 | 23.7 | 40 | 長 崎 | 8.8 |
| 3 | 徳 島 | 21.6 | 41 | 新 潟 | 8.6 |
| 4 | 滋 賀 | 20.4 | 42 | 長 野 | 8.4 |
| 5 | 奈 良 | 18.3 | 43 | 大 分 | 7.9 |
| 6 | 和歌山 | 18.2 | 44 | 群 馬 | 7.9 |
| 7 | 石 川 | 18.0 | 45 | 宮 崎 | 7.7 |
| 8 | 三 重 | 17.9 | 46 | 愛 媛 | 6.8 |
| 9 | 宮 城 | 17.0 | 47 | 鹿 児 島 | 6.7 |
| 10 | 高 知 | 16.5 | | | |
| 20 | 神奈川 | 13.8 | | | |

平成28年度男女共同参画社会等施策の推進状況

注釈

3-08

1) 2016年4月1日現在の値。

3-09, 3-10

1) 原則として2016年4月1日現在の値であるが、各地方自治体の事情により異なる場合がある。

3-11, 3-12

1) 原則として2016年4月1日現在の値であるが、各地方自治体の事情により異なる場合がある。

2) 本庁課長相当職以上の職を管理職としている（教職員以外で各地方公共団体の定員となっている職員。国家公務員の身分で地方公共団体に出入している職員などを含まない。）。

観光等宿泊者数

3-13

年間1874万6090人

指標 2016年の1年間に神奈川県内の宿泊施設へ宿泊した人は延べ1874万6090人で全国第7位です。1位東京、以下北海道、大阪、千葉と続いています。(全国では延べ4億9248万5160人)

神奈川県は、観光目的客よりビジネス目的客の方が多い傾向にあるといえます。

この統計は [宿泊旅行統計調査(平成28年・年間値(確定値))]

用語 宿泊施設、宿泊目的

この調査が対象としている宿泊施設は、旅館業法の営業許可を得ているホテル等のうち、従業者数が10人以上の全施設及び、従業者数10人未満の施設を抽出したもので、神奈川県では1311施設が対象です。(2016年12月現在)

宿泊目的は、「観光・レクリエーション」か「出張・業務」かの2区分で、宿泊施設に対して調査を行っています。ここでは、2つの区分をそれぞれ「観光目的」「ビジネス目的」としています。

県外からの宿泊者数

3-14

年間1312万4360人

指標 2016年の1年間に神奈川県内の宿泊施設に宿泊した人のうち、県外からの宿泊者は1312万4360人、県内からの宿泊者は501万1590人です。県外からの宿泊者が最も多いのは東京で、以下大阪、北海道、沖縄と続いています。

県外宿泊者の割合が高いのは、山梨88%、京都87%、沖縄84%などです。一方、県外宿泊者の割合が低い県は、北海道57%、愛知65%、山口65%です。なお、神奈川県は70%です。

この統計は [宿泊旅行統計調査(平成28年・年間値(確定値))]

用語 県内と県外の区分

県外からの宿泊者と県内からの宿泊者の区分は、宿泊者の居住地によります。

外国人宿泊者数の推移

3-15

4年で253%

指標 2016年の神奈川の外国人宿泊者数を2012年と比べると125万9,280人増加し、208万1890人となりました。4年間の増減をみると253%で、全国第30位です。第1位は香川(691%)、第2位は佐賀(618%)、第3位は奈良(544%)で、以下沖縄(477%)、和歌山(469%)の順です。

全国では4024万4220人増加し、6406万6730人となり、4年間の増減は269%です。

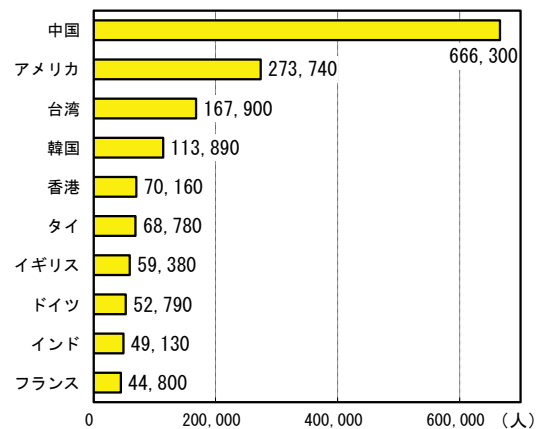
また、2016年の神奈川の外国人宿泊者数を国籍(出身地)別にみると、中国が最も多く、次いで、アメリカ合衆国、台湾、韓国、香港となっています。アジアの中国、台湾、韓国、香港で47%を占めています。

この統計は [宿泊旅行統計調査(平成28年・年間値(確定値))]

2016年の外国人宿泊者数(上位10県)

| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
|----|------|-------------|----|------|------------|
| 1 | 東京 | 16,457,420人 | 6 | 千葉 | 3,326,710人 |
| 2 | 大阪 | 9,800,040 | 7 | 福岡 | 2,506,790 |
| 3 | 北海道 | 6,165,450 | 8 | 愛知 | 2,259,730 |
| 4 | 京都 | 4,149,930 | 9 | 神奈川県 | 2,081,890 |
| 5 | 沖縄 | 3,524,440 | 10 | 静岡 | 1,414,890 |

神奈川の外国人宿泊者の国籍(2016年)



この統計は [宿泊旅行統計調査(平成28年・年間値(確定値))]

用語 外国人宿泊者、国籍(出身地)

外国人宿泊者とは、宿泊者のうち日本国内に住所を有しない者をいい、県外からの宿泊者の中に含まれています。この回答が困難な施設は、日本国籍を有しないものを外国人宿泊者としています。国籍(出身地)は、宿泊者が提示した旅券の国又は地域をいいます。

統計情報 宿泊旅行統計調査

宿泊旅行統計調査(平成28年・年間値(確定値)) [観光庁]

公表日: 2017.6.30 公表周期: 毎年

調査対象は、ホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などのうち、従業者数10人以上の事業所の全数及び、従業員数10人未満の事業所を抽出しています。

調査項目は、客室数、収容人数、従業者数、宿泊目的割合、宿泊者数、外国人宿泊者数、居住地別宿泊者数、国籍別外国人宿泊者数などとなり、毎月集計され観光庁が公表しています。

●観光等宿泊者数

3-13

2016年

宿泊者総数の上位

| 順位 | 都道府県 | 宿泊者 総数 | 観光目的の宿泊者が | |
|----|------|-------------|-------------|-------------|
| | | | 50%以上 | 50%未満 |
| | 全 国 | 492,485,160 | 247,403,020 | 244,808,100 |
| 1 | 東 京 | 57,514,950 | 17,607,700 | 39,808,020 |
| 2 | 北海道 | 33,554,500 | 20,282,840 | 13,271,090 |
| 3 | 大 阪 | 31,010,470 | 13,004,460 | 18,006,010 |
| 4 | 千 葉 | 21,880,880 | 14,440,550 | 7,440,330 |
| 5 | 静 岡 | 21,237,660 | 12,751,950 | 8,485,640 |
| 6 | 沖 縄 | 20,626,690 | 17,612,750 | 2,999,260 |
| 7 | 神奈川 | 18,746,090 | 8,557,250 | 10,176,380 |
| 8 | 長 野 | 17,804,660 | 12,846,550 | 4,957,620 |
| 9 | 京 都 | 17,649,500 | 14,629,350 | 3,020,150 |
| 10 | 愛 知 | 16,558,790 | 3,758,640 | 12,800,150 |

宿泊者総数の下位

| 順位 | 都道府県 | 宿泊者 総数 | 観光目的の宿泊者が | |
|----|------|-----------|-----------|-----------|
| | | | 50%以上 | 50%未満 |
| 38 | 福 井 | 3,709,190 | 2,179,610 | 1,529,580 |
| 39 | 宮 崎 | 3,643,200 | 1,331,180 | 2,332,080 |
| 40 | 島 根 | 3,466,560 | 1,284,240 | 2,179,070 |
| 41 | 富 山 | 3,408,470 | 1,785,610 | 1,622,850 |
| 42 | 秋 田 | 3,399,890 | 1,317,990 | 2,081,800 |
| 43 | 佐 賀 | 3,040,560 | 1,283,760 | 1,756,790 |
| 44 | 鳥 取 | 2,989,460 | 1,621,250 | 1,368,210 |
| 45 | 高 知 | 2,821,620 | 1,301,850 | 1,519,470 |
| 46 | 奈 良 | 2,522,030 | 2,308,930 | 213,100 |
| 47 | 徳 島 | 2,383,140 | 1,102,390 | 1,280,750 |

宿泊旅行統計調査(平成28年・年間値(確定値))

●県外からの宿泊者数

3-14

2016年

県外からの宿泊者数の上位

| 順位 | 都道府県 | 宿泊者 総数 | 県外からの | |
|----|------|-------------|-------------|-------------|
| | | | 宿泊者数 | 宿泊者数 |
| | 全 国 | 492,485,160 | 105,002,700 | 366,963,010 |
| 1 | 東 京 | 57,514,950 | 11,370,070 | 42,073,760 |
| 2 | 大 阪 | 31,010,470 | 4,241,660 | 25,501,810 |
| 3 | 北海道 | 33,554,500 | 13,398,710 | 19,158,260 |
| 4 | 沖 縄 | 20,626,690 | 2,444,580 | 17,311,300 |
| 5 | 千 葉 | 21,880,880 | 3,063,210 | 17,173,830 |
| 6 | 静 岡 | 21,237,660 | 4,236,070 | 16,403,630 |
| 7 | 京 都 | 17,649,500 | 1,702,630 | 15,283,170 |
| 8 | 長 野 | 17,804,660 | 2,990,800 | 14,407,770 |
| 9 | 神奈川 | 18,746,090 | 5,011,590 | 13,124,360 |
| 10 | 福 岡 | 16,475,930 | 3,951,910 | 12,126,420 |

県外からの宿泊者数の下位

| 順位 | 都道府県 | 宿泊者 総数 | 県外からの | |
|----|------|-----------|-----------|-----------|
| | | | 宿泊者数 | 宿泊者数 |
| 38 | 福 井 | 3,709,190 | 822,660 | 2,767,620 |
| 39 | 島 根 | 3,466,560 | 785,600 | 2,666,520 |
| 40 | 宮 崎 | 3,643,200 | 1,025,360 | 2,540,010 |
| 41 | 富 山 | 3,408,470 | 744,160 | 2,482,370 |
| 42 | 鳥 取 | 2,989,460 | 520,910 | 2,349,960 |
| 43 | 佐 賀 | 3,040,560 | 520,060 | 2,324,430 |
| 44 | 秋 田 | 3,399,890 | 1,037,420 | 2,297,500 |
| 45 | 高 知 | 2,821,620 | 569,790 | 2,124,540 |
| 46 | 奈 良 | 2,522,030 | 348,340 | 2,022,200 |
| 47 | 徳 島 | 2,383,140 | 325,610 | 1,896,150 |

宿泊旅行統計調査(平成28年・年間値(確定値))

●外国人宿泊者数の推移

3-15

推移

4年間の増減上位

| 順位 | 都道府県 | 外国人宿泊者数 | | 4年間の増減 12年→16年 |
|----|------|------------|------------|-------------------|
| | | 2012 | | |
| | | 人 | % | |
| | 全 国 | 23,822,510 | 64,066,730 | 269 |
| 1 | 香 川 | 36,820 | 254,430 | 691 |
| 2 | 佐 賀 | 39,630 | 244,950 | 618 |
| 3 | 奈 良 | 53,240 | 289,760 | 544 |
| 4 | 沖 縄 | 738,640 | 3,524,440 | 477 |
| 5 | 和歌山 | 97,830 | 458,400 | 469 |
| 6 | 長 野 | 204,600 | 895,050 | 437 |
| 7 | 岡 山 | 65,250 | 268,280 | 411 |
| 8 | 滋 賀 | 111,710 | 457,430 | 409 |
| 9 | 三 重 | 86,490 | 327,580 | 379 |
| 10 | 青 森 | 39,390 | 143,590 | 365 |

4年間の増減下位

| 順位 | 都道府県 | 外国人宿泊者数 | | 4年間の増減 12年→16年 |
|----|------|-----------|------------|-------------------|
| | | 2012 | | |
| | | 人 | % | |
| 30 | 神奈川 | 822,610 | 2,081,890 | 253 |
| 38 | 新 潟 | 81,100 | 190,950 | 235 |
| 39 | 宮 城 | 74,590 | 175,480 | 235 |
| 40 | 福 井 | 21,030 | 48,530 | 231 |
| 41 | 東 京 | 7,918,960 | 16,457,420 | 208 |
| 42 | 長 崎 | 280,130 | 568,550 | 203 |
| 43 | 埼 玉 | 85,860 | 163,070 | 190 |
| 44 | 山 口 | 45,190 | 84,830 | 188 |
| 45 | 千 葉 | 1,792,120 | 3,326,710 | 186 |
| 46 | 熊 本 | 294,450 | 504,350 | 171 |
| 47 | 宮 崎 | 139,520 | 219,710 | 157 |

宿泊旅行統計調査(平成24、28年・年間値(確定値))

注釈

3-13~3-15

1) ここに掲載した宿泊者数は延べ宿泊者数であり、1人が2泊した場合は2人と数える。寝具を使用する子どもや乳幼児も1人としてカウントしている。

3-13 観光目的の宿泊者が50%以上、50%未満

1) 最近1年間の宿泊者の宿泊目的を「観光・レクリエーション」または「出張・業務」の2つに分類し、宿泊施設単位でおよその割合を回答したもの。観光目的の宿泊者数が50%以上の施設と50%未満の施設に区分される。そのうえで、観光目的の

宿泊者数が50%以上の施設に宿泊した者の数と同50%未満の施設に宿泊した者の数が表章される。よってこの調査は宿泊者から宿泊目的を直接調査したものではないことに留意が必要である。(目的不詳も含まれており、合計値は100%とならない。)

3-15

1) 日本国内に住所を有しない宿泊者。この回答が困難な施設は、日本国籍を有しないものを外国人宿泊者と回答しても可とされている。

| | | |
|-------|-------|--------------|
| 持ち家比率 | 58.6% | 3-16 3-17 |
| 借家比率 | 37.9% | |

指標 2013年の神奈川における居住世帯のある住宅数は384万3200戸であり、このうち持ち家が58.6%、借家が37.9%でした。

持ち家比率の全国平均は61.7%です。富山(79.4%)、秋田(78.1%)、山形(76.7%)、福井(76.5%)などの日本海側の県が上位を占めています。神奈川は58.6%で全国第41位。東京が最下位(45.8%)となっています。

一方で借家比率は全国平均35.5%を上回り、全国第8位となっています。

この統計は [平成25年住宅・土地統計調査]

用語 持ち家、借家

持ち家とは、居住している世帯が全部又は一部を所有している住宅で、新築などで登記がまだ済んでいない場合やローンなどの支払いが完了していない場合も「持ち家」としています。分類は「持ち家」「借家」のほかに「住宅以外で人が居住する建物」があります。

| | | |
|------------|--------|------|
| 持ち家住宅の延べ面積 | 1住宅当たり | 3-18 |
| | 98.6㎡ | |

指標 2013年の神奈川における持ち家住宅の延べ面積は1住宅当たり98.6㎡、全国第46位となっています。全国平均は122.3㎡でした。

この統計は [平成25年住宅・土地統計調査]

用語 持ち家住宅の延べ面積(1住宅当たり)

=持ち家の床面積の合計÷持ち家住宅数

| | | |
|-----------|--------|------|
| 借家住宅の延べ面積 | 1住宅当たり | 3-19 |
| | 42.6㎡ | |

指標 2013年の神奈川における借家住宅の延べ面積は1住宅当たり42.6㎡、全国第46位となっています。

この統計は [平成25年住宅・土地統計調査]

用語 借家住宅の延べ面積(1住宅当たり)

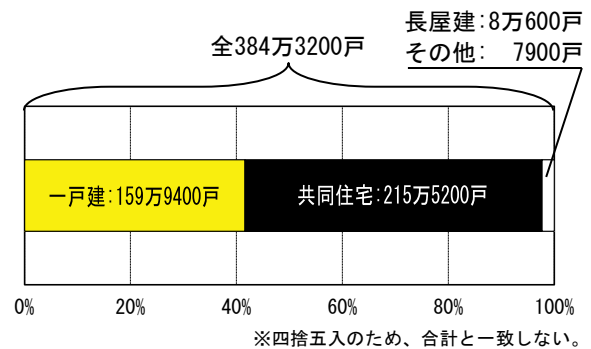
=借家の床面積の合計÷借家住宅数

アパートやマンションなど共同住宅の場合は、共同で使用している廊下、階段などの面積を除いたそれぞれの住宅の専用部分の床面積としています。

| | | |
|---------|-------|--------------|
| 一戸建住宅比率 | 41.6% | 3-20 3-21 |
| 共同住宅比率 | 56.1% | |

指標 2013年の神奈川における居住世帯のある住宅のうち、一戸建住宅は全体の41.6%、共同住宅は56.1%となっています。神奈川は一戸建住宅の割合が低く、共同住宅の割合が高くなっています。

神奈川の住宅戸数と内訳

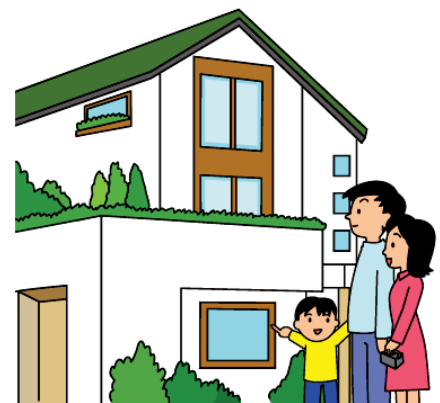


この統計は [平成25年住宅・土地統計調査]

用語 一戸建、共同住宅

住宅・土地統計調査における住宅の建て方には、一戸建、長屋建、共同住宅及びその他の4分類があります。マンションやアパートは共同住宅に入ります。

なお、比率の分母は居住世帯のある住宅数です。



統計情報 住宅・土地統計調査

平成25年住宅・土地統計調査 [総務省統計局]

公表日: 2016. 2. 29(神奈川県分)等

公表周期: 5年ごと

我が国の住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明

らかにする調査です。この調査の結果は、住生活基本法に基づいて作成される住生活基本計画、土地利用計画などの諸施策の企画、立案、評価等の基礎資料として利用されています。

●持ち家比率 3-16

| 2013年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | % | | | % |
| 全国 | | 61.7 | | | |
| 1 | 富山 | 79.4 | 38 | 広島 | 62.6 |
| 2 | 秋田 | 78.1 | 39 | 京都 | 60.8 |
| 3 | 山形 | 76.7 | 40 | 愛知 | 58.7 |
| 4 | 福井 | 76.5 | 41 | 神奈川 | 58.6 |
| 5 | 新潟 | 75.5 | 42 | 宮城 | 58.0 |
| 6 | 和歌山 | 74.8 | 43 | 北海道 | 57.7 |
| 7 | 岐阜 | 74.5 | 44 | 大阪 | 54.2 |
| 8 | 奈良 | 73.8 | 45 | 福岡 | 53.8 |
| 9 | 三重 | 73.2 | 46 | 沖縄 | 48.0 |
| 10 | 長野 | 73.0 | 47 | 東京 | 45.8 |

平成25年住宅・土地統計調査

●借家比率 3-17

| 2013年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | % | | | % |
| 全国 | | 35.5 | | | |
| 1 | 沖縄 | 49.8 | 38 | 三重 | 25.4 |
| 2 | 東京 | 47.9 | 39 | 滋賀 | 25.2 |
| 3 | 福岡 | 44.5 | 40 | 奈良 | 24.2 |
| 4 | 大阪 | 42.6 | 41 | 岐阜 | 24.2 |
| 5 | 宮城 | 40.4 | 42 | 和歌山 | 23.6 |
| 6 | 北海道 | 40.3 | 43 | 新潟 | 23.3 |
| 7 | 愛知 | 38.7 | 44 | 山形 | 22.5 |
| 8 | 神奈川 | 37.9 | 45 | 福井 | 22.2 |
| 9 | 京都 | 35.9 | 46 | 秋田 | 21.0 |
| 10 | 広島 | 35.4 | 47 | 富山 | 19.7 |

平成25年住宅・土地統計調査

●持ち家住宅の延べ面積 3-18

| 2013年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|-------|----|------|-------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | ㎡ | | | ㎡ |
| 全国 | | 122.3 | | | |
| 1 | 富山 | 177.0 | 38 | 兵庫 | 118.6 |
| 2 | 福井 | 173.3 | 39 | 高知 | 118.3 |
| 3 | 山形 | 168.0 | 40 | 京都 | 114.3 |
| 4 | 石川 | 162.5 | 41 | 千葉 | 110.3 |
| 5 | 秋田 | 162.0 | 42 | 鹿児島 | 109.5 |
| 6 | 新潟 | 161.5 | 43 | 埼玉 | 107.0 |
| 7 | 島根 | 159.2 | 44 | 沖縄 | 104.3 |
| 8 | 鳥取 | 156.5 | 45 | 大阪 | 101.6 |
| 9 | 岩手 | 154.6 | 46 | 神奈川 | 98.6 |
| 10 | 長野 | 154.4 | 47 | 東京 | 90.7 |

平成25年住宅・土地統計調査

●借家住宅の延べ面積 3-19

| 2013年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | ㎡ | | | ㎡ |
| 全国 | | 46.0 | | | |
| 1 | 島根 | 54.5 | 38 | 福岡 | 47.3 |
| 2 | 青森 | 53.6 | 39 | 静岡 | 47.0 |
| 3 | 長野 | 53.5 | 40 | 愛知 | 45.1 |
| 4 | 奈良 | 53.4 | 41 | 千葉 | 44.8 |
| 5 | 佐賀 | 53.1 | 42 | 宮城 | 44.3 |
| 6 | 福井 | 52.8 | 43 | 大阪 | 44.0 |
| 7 | 宮崎 | 52.4 | 44 | 埼玉 | 43.7 |
| 8 | 長崎 | 52.4 | 45 | 京都 | 43.1 |
| 9 | 北海道 | 52.4 | 46 | 神奈川 | 42.6 |
| 10 | 富山 | 51.9 | 47 | 東京 | 39.5 |

平成25年住宅・土地統計調査

●一戸建住宅比率 3-20

| 2013年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | % | | | % |
| 全国 | | 54.9 | | | |
| 1 | 秋田 | 81.0 | 38 | 宮城 | 55.4 |
| 2 | 山形 | 79.8 | 39 | 千葉 | 54.1 |
| 3 | 富山 | 79.7 | 40 | 北海道 | 53.4 |
| 4 | 福井 | 78.5 | 41 | 愛知 | 50.9 |
| 5 | 和歌山 | 76.8 | 42 | 兵庫 | 50.5 |
| 6 | 青森 | 76.8 | 43 | 福岡 | 46.1 |
| 7 | 新潟 | 76.4 | 44 | 沖縄 | 42.3 |
| 8 | 長野 | 75.9 | 45 | 神奈川 | 41.6 |
| 9 | 三重 | 75.3 | 46 | 大阪 | 40.7 |
| 10 | 岐阜 | 75.2 | 47 | 東京 | 27.8 |

平成25年住宅・土地統計調査

●共同住宅比率 3-21

| 2013年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | % | | | % |
| 全国 | | 42.4 | | | |
| 1 | 東京 | 70.0 | 38 | 岐阜 | 22.4 |
| 2 | 神奈川 | 56.1 | 39 | 島根 | 22.3 |
| 3 | 沖縄 | 55.9 | 40 | 新潟 | 21.7 |
| 4 | 大阪 | 55.2 | 41 | 長野 | 20.9 |
| 5 | 福岡 | 51.1 | 42 | 青森 | 19.7 |
| 6 | 兵庫 | 46.7 | 43 | 福井 | 19.4 |
| 7 | 愛知 | 46.3 | 44 | 和歌山 | 18.9 |
| 8 | 千葉 | 43.8 | 45 | 富山 | 18.8 |
| 9 | 埼玉 | 42.3 | 46 | 山形 | 18.4 |
| 10 | 北海道 | 42.0 | 47 | 秋田 | 17.2 |

平成25年住宅・土地統計調査

注釈

3-16~3-21

1) 2013年10月1日現在の値。

3-16

1) 持ち家比率=持ち家住宅数/(居住世帯のある)住宅数

3-17

1) 借家比率=借家住宅数/(居住世帯のある)住宅数

3-20

1) 一戸建住宅比率=一戸建住宅数/(居住世帯のある)住宅数

3-21

1) 共同住宅比率=共同住宅数/(居住世帯のある)住宅数

小売店数 5万2544店 3-22
3-23

指標 2014年における神奈川の小売店数は5万2544店で全国第4位です。人口1000人当たりでは5.78店となり、最下位になります。千葉、埼玉など東京近郊で特に少なくなっています。

この統計は [平成26年経済センサス-基礎調査]

用語 小売店

ここで掲載した小売店数は、経済センサス-基礎調査によって小売業に分類された全事業所数です。

神奈川の小売店数の内訳 (2014年)

| | (店) |
|----------------|--------|
| 各種商品小売業 | 244 |
| 織物・衣服・身の回り品小売業 | 8,129 |
| 飲食料品小売業 | 17,005 |
| 機械器具小売業 | 6,399 |
| その他の小売業 | 18,981 |
| 無店舗小売業 | 1,786 |
| 合計 | 52,544 |

飲食店数 3万4637店 3-24
3-25

指標 2014年における神奈川の飲食店数は3万4637店で全国第4位です。人口1000人当たりでは3.81店となり、第43位となります。

この統計は [平成26年経済センサス-基礎調査]

用語 飲食店

ここで掲載した飲食店数は、経済センサス-基礎調査によって飲食店に分類された全事業所数です。



公衆浴場数 172施設 3-26

指標 2015年度末における神奈川の公衆浴場数は172施設で全国第8位となっています。また2005年は287施設、2010年は226施設となっており、継続して減少しています。

なお、県内の入浴料金は2008年8月に大人450円となり、2014年9月からは470円となっています。

この統計は [平成27年度衛生行政報告例]

用語 公衆浴場

入浴料金が公衆浴場入浴料金の統制を受けている施設で、配置などが条例の規制の対象となっているものをいいます。いわゆるヘルスセンターやサウナ風呂は含まれていません。

理容・美容所数 1万6130施設 3-27

指標 2015年度末における神奈川の理容・美容所数は1万6130施設で全国第6位となっています。

なお、理容所が5040施設、美容所が1万1090施設となっています。5年前の2010年は理容所が5342施設、美容所が1万210施設となっており、理容所が減少する一方、美容所は増加しています。

この統計は [平成27年度衛生行政報告例]



統計情報 経済センサス-基礎調査

平成26年経済センサス-基礎調査 [総務省統計局]
公表日：速報2015.6.30～順次公表済
公表周期：5年ごと

経済センサスは、事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的としています。事業所・企業の基本的構造を明らかにする「基礎調査」と、事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする「活動調査」の2つから成り立っています。

●小売店数 3-22

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|-----------|----|------|--------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 店 | | | 店 |
| | 全 国 | 1,025,058 | | | |
| 1 | 東 京 | 101,177 | 38 | 和歌山 | 10,489 |
| 2 | 大 阪 | 66,820 | 39 | 奈 良 | 10,171 |
| 3 | 愛 知 | 53,726 | 40 | 香 川 | 9,276 |
| 4 | 神奈川 | 52,544 | 41 | 福 井 | 8,291 |
| 5 | 福 岡 | 43,475 | 42 | 高 知 | 8,254 |
| 6 | 埼 玉 | 43,417 | 43 | 佐 賀 | 8,224 |
| 8 | 兵 庫 | 43,417 | 44 | 山 梨 | 7,918 |
| 6 | 北海道 | 42,161 | 45 | 徳 島 | 7,819 |
| 9 | 千 葉 | 37,135 | 46 | 島 根 | 7,771 |
| 10 | 静 岡 | 33,200 | 47 | 鳥 取 | 5,507 |

平成26年経済センサス-基礎調査

●小売店数 3-23

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|--------------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | (人口1000人当たり) | | | |
| | | 店 | | | 店 |
| | 全 国 | 8.07 | | | |
| 1 | 高 知 | 11.19 | 38 | 兵 庫 | 7.84 |
| 2 | 島 根 | 11.16 | 39 | 北海道 | 7.81 |
| 3 | 和歌山 | 10.80 | 40 | 滋 賀 | 7.66 |
| 4 | 福 井 | 10.50 | 41 | 大 阪 | 7.56 |
| 5 | 山 形 | 10.35 | 42 | 東 京 | 7.56 |
| 6 | 秋 田 | 10.30 | 43 | 奈 良 | 7.39 |
| 7 | 長 崎 | 10.27 | 44 | 愛 知 | 7.21 |
| 8 | 徳 島 | 10.24 | 45 | 埼 玉 | 6.00 |
| 9 | 鹿児島 | 10.21 | 46 | 千 葉 | 5.99 |
| 10 | 富 山 | 10.17 | 47 | 神奈川 | 5.78 |

平成26年経済センサス-基礎調査

●飲食店数 3-24

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|---------|----|------|-------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 店 | | | 店 |
| | 全 国 | 619,711 | | | |
| 1 | 東 京 | 83,833 | 38 | 滋 賀 | 4,874 |
| 2 | 大 阪 | 50,913 | 39 | 和歌山 | 4,862 |
| 3 | 愛 知 | 37,867 | 40 | 山 梨 | 4,745 |
| 4 | 神奈川 | 34,637 | 41 | 高 知 | 4,646 |
| 5 | 兵 庫 | 29,056 | 42 | 奈 良 | 4,489 |
| 6 | 北海道 | 28,319 | 43 | 福 井 | 4,199 |
| 7 | 埼 玉 | 25,484 | 44 | 佐 賀 | 4,050 |
| 8 | 福 岡 | 25,082 | 45 | 徳 島 | 3,840 |
| 9 | 千 葉 | 22,038 | 46 | 島 根 | 3,164 |
| 10 | 静 岡 | 18,937 | 47 | 鳥 取 | 2,778 |

平成26年経済センサス-基礎調査

●飲食店数 3-25

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|--------------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | (人口1000人当たり) | | | |
| | | 店 | | | 店 |
| | 全 国 | 4.88 | | | |
| 1 | 沖 縄 | 7.23 | 38 | 熊 本 | 4.29 |
| 2 | 高 知 | 6.30 | 39 | 福 島 | 4.29 |
| 3 | 東 京 | 6.26 | 40 | 宮 城 | 4.18 |
| 4 | 宮 崎 | 5.90 | 41 | 茨 城 | 4.04 |
| 5 | 大 阪 | 5.76 | 42 | 岡 山 | 3.88 |
| 6 | 山 梨 | 5.64 | 43 | 神奈川 | 3.81 |
| 7 | 石 川 | 5.49 | 44 | 千 葉 | 3.56 |
| 8 | 岐 阜 | 5.36 | 45 | 埼 玉 | 3.52 |
| 9 | 青 森 | 5.32 | 46 | 滋 賀 | 3.44 |
| 10 | 福 井 | 5.32 | 47 | 奈 良 | 3.26 |

平成26年経済センサス-基礎調査

●公衆浴場数 3-26

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|-------|----|------|----|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 施設 | | | 施設 |
| | 全 国 | 4,078 | | | |
| 1 | 大 阪 | 654 | 38 | 秋 田 | 11 |
| 2 | 東 京 | 618 | 38 | 静 岡 | 11 |
| 3 | 青 森 | 321 | 40 | 栃 木 | 10 |
| 4 | 鹿児島 | 307 | 41 | 宮 城 | 9 |
| 5 | 北海道 | 306 | 41 | 高 知 | 9 |
| 6 | 兵 庫 | 191 | 43 | 茨 城 | 4 |
| 7 | 京 都 | 178 | 44 | 沖 縄 | 2 |
| 8 | 神奈川 | 172 | | | |
| 9 | 大 分 | 157 | 45 | 山 形 | 1 |
| 10 | 愛 知 | 111 | 45 | 島 根 | 1 |
| | | | 45 | 佐 賀 | 1 |

平成27年度衛生行政報告例

●理容・美容所数 3-27

| 2016年 上位 | | | 下位 | | |
|-------------|------|---------|----|------|-------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 施設 | | | 施設 |
| | 全 国 | 364,883 | | | |
| 1 | 東 京 | 29,931 | 38 | 香 川 | 3,606 |
| 2 | 大 阪 | 22,375 | 39 | 奈 良 | 3,578 |
| 3 | 愛 知 | 17,624 | 40 | 富 山 | 3,529 |
| 4 | 北海道 | 17,112 | 41 | 徳 島 | 3,444 |
| 5 | 埼 玉 | 16,175 | 42 | 山 梨 | 3,293 |
| 6 | 神奈川 | 16,130 | 43 | 高 知 | 2,980 |
| 7 | 福 岡 | 14,054 | 44 | 福 井 | 2,735 |
| 8 | 千 葉 | 13,881 | 45 | 島 根 | 2,733 |
| 9 | 兵 庫 | 13,299 | | | |
| 10 | 静 岡 | 12,035 | 46 | 佐 賀 | 2,693 |
| | | | 47 | 鳥 取 | 2,321 |

平成27年度衛生行政報告例

統計情報 衛生行政報告例

平成27年度衛生行政報告例 [厚生労働省]

公表日：2016.11.17 公表周期：毎年

精神保健福祉、栄養、衛生検査、生活衛生、食品衛生、乳肉衛生、医療、薬事、母体保護、特定疾患、狂犬病予防の行政分野について毎年調べているものです。

注釈

3-22~3-25

1) 事業所数は、民営事業所に加え、国、地方公共団体の事業所を含めた総数。

2) 2014年7月1日現在の値。

3) 人口は2014年10月1日現在、2014(平成26)年人口推計[総務省統計局]による。

3-26, 3-27

1) 2016年3月31日(平成27年度末)現在の値。

道路実延長

2万5528.7km

3-28
3-29

指標 2014年における神奈川の道路実延長は2万5528.7kmで全国第19位ですが、1km²当たりの道路実延長では、埼玉、東京に次いで全国第3位となります。これは神奈川の面積が全国第43位と小さいためです。

この統計は [道路統計年報2015]
[社会生活統計指標2017]

用語 道路、道路実延長

道路とは、道路法にいう一般交通の用に供する道で、高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道を含みます。農道や林道は含まれていません。また、道路実延長とは、高速自動車国道を除く道路の総延長から未供用や重複する部分などを除いた長さをいいます。

平均交通量

1万5881台/12h

3-30

指標 2015年の神奈川の平均交通量は1万5881台/12hで全国第3位となっています。

最も少ない島根は、2889台/12h、最も多い大阪は、1万7330台/12hです。

この統計は [平成27年度全国道路・街路交通情勢調査]

用語 平均交通量

ここでいう平均交通量とは、全国道路・街路交通情勢調査の一般交通量調査で得られた12時間当たりの自動車の交通量(台)と区画長(キロ)を乗じたものの合計を区画長の合計で除したものです。平日の自動車(小型車・大型車)を対象としています。



一般道路全国一の交通量は国道16号保土ヶ谷バイパス

2015年9月から11月にかけて実施された全国道路・街路交通情勢調査のうち一般交通量調査の結果によると、一般道路で全国一の交通量となった地点は県内の国道16号(保土ヶ谷バイパス)でした。平日昼間12時間当たり10万3633台となっています。

| 順位 | 交通量(台/12h) | 路線名 | 観測地点 |
|----|------------|---------------|-----------|
| 1 | 103,633 | 国道16号保土ヶ谷バイパス | 横浜市旭区桐が作 |
| 2 | 103,616 | 国道8号 | 新潟市中央区紫竹山 |
| 3 | 90,895 | 国道423号 | 大阪市北区豊崎 |

保有自動車数(人口1000人当たり)

437.6台

3-31

指標 2016年3月末現在で、神奈川の貨物車や営業車を含めた保有自動車数は399万3489台、自家用乗用車数は303万9047台となっています。保有自動車数と自家用乗用車数のいずれも上位を愛知、東京、埼玉、神奈川が占めていますが、神奈川の人口1000人当たり保有自動車数は全国第45位の437.6台となっています。

人口1000人当たり保有自動車数は、神奈川を含め大都市圏では低くなっています。

この統計は [自動車保有車両数統計]
[社会生活統計指標2017]

用語 保有自動車数

ここに掲載した車両数は3月31日現在で整理したものです。保有自動車数は登録自動車、軽自動車及び小型二輪自動車の合計です。乗用車はいわゆる3、5、7ナンバー車をいい、神奈川県分は横浜、相模、湘南、川崎ナンバーの合計数です。

神奈川の保有自動車数の内訳(2016年3月末)

| | 神奈川 | | | 全国台数 |
|---------|-----------|------|----|------------|
| | 台数 | 全国比 | 順位 | |
| 登録自動車 | 2,757,989 | 5.9% | 3位 | 47,144,660 |
| 軽自動車 | 1,111,723 | 3.5% | 9位 | 32,127,609 |
| 小型二輪自動車 | 123,777 | 7.6% | 2位 | 1,628,461 |
| 合計 | 3,993,489 | 4.9% | 4位 | 80,900,730 |

※交通関連統計資料集(国土交通省)より

統計情報 道路統計年報

道路統計年報2015 [国土交通省]
公表日:2016.8 公表周期:毎年
毎年4月1日現在における道路、橋梁、トンネル等の現況と調査年度に投入された道路事業費等を調査し、その結果を収録したものです。

統計情報 全国道路・街路交通情勢調査

平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 [国土交通省]
公表日:2017.6.6 公表周期:概ね5年ごと
全国の道路状況、交通量、旅行速度、自動車交通の出発地・目的地、移動目的等を調査するもので、平成22年度調査時には道路交通センサスとも呼ばれました。

統計情報 社会生活統計指標-都道府県の指標-

社会生活統計指標-都道府県の指標-2017 [総務省統計局]
公表日:2017.2月刊行 公表周期:毎年
本書は、社会・人口統計体系において整備した基礎データを用いて作成している統計指標の中から、都道府県別の主要なデータを、報告書に取りまとめたものです。

●道路実延長 3-28

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|-----------|-------------|----|------|----------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | km | | | km |
| | 全国 | 1,210,343.9 | | | |
| 1 | 北海道 | 89,626.2 | 38 | 和歌山 | 13,543.0 |
| 2 | 茨城 | 55,829.1 | 39 | 石川 | 13,007.6 |
| 3 | 愛知 | 49,911.3 | 40 | 奈良 | 12,652.1 |
| 4 | 長野 | 47,669.0 | | | |
| 5 | 埼玉 | 46,863.8 | 41 | 滋賀 | 12,327.4 |
| | | | 42 | 山梨 | 11,079.9 |
| 6 | 千葉 | 40,438.4 | 43 | 佐賀 | 10,852.1 |
| 7 | 福島 | 38,770.9 | 44 | 福井 | 10,770.4 |
| 8 | 福岡 | 37,367.0 | 45 | 香川 | 10,195.1 |
| 9 | 新潟 | 37,109.9 | | | |
| 10 | 静岡 | 36,570.1 | 46 | 鳥取 | 8,792.8 |
| | | | 47 | 沖縄 | 8,055.7 |
| 19 | 神奈川 | 25,528.7 | | | |

社会生活統計指標2017

●道路実延長 (1kmf当たり) 3-29

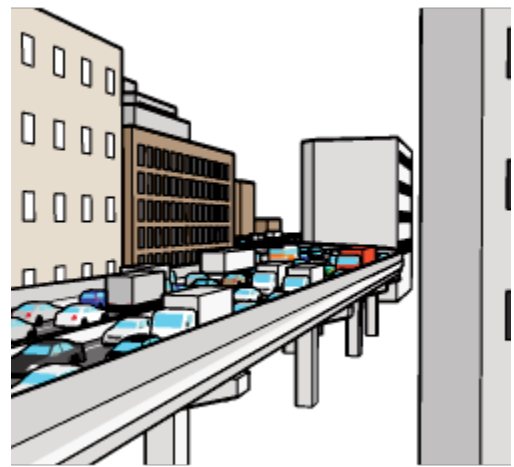
| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|-----------|-------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | km | | | km |
| | 全国 | 3.25 | | | |
| 1 | 埼玉 | 12.34 | 38 | 宮崎 | 2.58 |
| 2 | 東京 | 11.02 | 39 | 福井 | 2.57 |
| 3 | 神奈川 | 10.57 | 40 | 鳥取 | 2.51 |
| 4 | 大阪 | 10.15 | | | |
| 5 | 愛知 | 9.65 | 41 | 山梨 | 2.48 |
| | | | 42 | 岩手 | 2.16 |
| 6 | 茨城 | 9.16 | 43 | 青森 | 2.06 |
| 7 | 千葉 | 7.84 | 44 | 秋田 | 2.03 |
| 8 | 福岡 | 7.49 | 45 | 高知 | 1.96 |
| 9 | 群馬 | 5.47 | | | |
| 10 | 香川 | 5.43 | 46 | 山形 | 1.77 |
| | | | 47 | 北海道 | 1.14 |

社会生活統計指標2017

●平均交通量 3-30

| 2015年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|-----------|--------|----|------|-------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 台/12h | | | 台/12h |
| | 全国 | 5,986 | | | |
| 1 | 大阪 | 17,330 | 38 | 徳島 | 3,996 |
| 2 | 東京 | 16,932 | 39 | 鹿児島 | 3,960 |
| 3 | 神奈川 | 15,881 | 40 | 愛媛 | 3,936 |
| 4 | 埼玉 | 12,295 | | | |
| 5 | 愛知 | 10,962 | 41 | 鳥取 | 3,904 |
| | | | 42 | 和歌山 | 3,859 |
| 6 | 千葉 | 9,418 | 43 | 秋田 | 3,782 |
| 7 | 福岡 | 9,228 | 44 | 青森 | 3,692 |
| 8 | 沖縄 | 8,498 | 45 | 北海道 | 3,090 |
| 9 | 静岡 | 8,160 | | | |
| 10 | 茨城 | 8,001 | 46 | 高知 | 2,979 |
| | | | 47 | 島根 | 2,889 |

平成27年度全国道路・街路交通情勢調査



●保有自動車数 (人口1000人当たり) 3-31

| 2016年 人口1000人当たり保有自動車数の上位 | | | | 人口1000人当たり保有自動車数の下位 | | | | | |
|---------------------------|-----------|------------|------------|---------------------|----|------|-----------|-----------|------------------|
| 順位 | 都道府県 | 自家用乗用車数 | 保有自動車数 | 人口1000人当たり保有自動車数 | 順位 | 都道府県 | 自家用乗用車数 | 保有自動車数 | 人口1000人当たり保有自動車数 |
| | | | | 台 | | | | | 台 |
| | 全国 | 60,595,249 | 80,900,730 | 636.5 | | | | | |
| 1 | 群馬 | 1,357,393 | 1,784,750 | 904.5 | 38 | 広島 | 1,433,311 | 1,885,535 | 663.0 |
| 2 | 長野 | 1,356,595 | 1,893,055 | 902.0 | 39 | 福岡 | 2,535,859 | 3,338,994 | 654.5 |
| 3 | 山梨 | 547,342 | 752,641 | 901.4 | 40 | 奈良 | 648,199 | 832,363 | 610.1 |
| 4 | 茨城 | 1,939,984 | 2,574,594 | 882.6 | | | | | |
| 5 | 栃木 | 1,314,333 | 1,712,352 | 867.3 | 41 | 千葉 | 2,758,478 | 3,592,358 | 577.3 |
| | | | | | 42 | 埼玉 | 3,153,036 | 4,060,295 | 558.8 |
| 6 | 福島 | 1,211,071 | 1,656,230 | 865.3 | 43 | 兵庫 | 2,286,423 | 3,010,576 | 543.9 |
| 7 | 宮崎 | 664,084 | 939,699 | 851.1 | 44 | 京都 | 992,093 | 1,337,244 | 512.3 |
| 8 | 富山 | 702,157 | 898,342 | 842.5 | 45 | 神奈川 | 3,039,047 | 3,993,489 | 437.6 |
| 9 | 福井 | 504,109 | 661,529 | 840.8 | | | | | |
| 10 | 山形 | 688,816 | 933,699 | 830.8 | 46 | 大阪 | 2,734,546 | 3,734,262 | 422.5 |
| | | | | | 47 | 東京 | 3,098,357 | 4,413,157 | 326.5 |

社会生活統計指標2017

統計情報 自動車保有車両数統計

自動車保有車両数統計[国土交通省]
公表周期：毎月
この統計は自動車を用途別、車種別、業態別に集計整理したもので、主に国土交通省の自動車登録検査業務電子情報処理システムによる集計です。自動車保有車両数は、毎月末現在の保有車両数です。

注釈

- 3-28, 3-29
 - 1) 道路実延長は2014年4月1日現在の値。
- 3-30
 - 1) 全国道路・街路交通情勢調査における一般交通量調査は2015年9月から11月にかけて実施された。
 - 2) 交通量推定不能区間を含まない値。
- 3-31
 - 1) 2016年3月31日現在の値。
 - 2) 人口は2015年10月1日現在、平成27年国勢調査結果[総務省統計局]。

神奈川県で所有数量が多い耐久消費財(上位) (2014年)

| 品 目 | 所有数量 (台) | 普及率 (%) |
|---------|-------------|------------|
| ルームエアコン | 2,746 | 94.8 |
| たんす ※1 | 2,493 | 87.2 |
| テレビ | 2,021 | 98.6 |
| 床暖房 ※2 | 1,829 | 17.3 |
| カメラ | 1,494 | 86.0 |

※1：作り付けを除く。 ※2：単位は「畳」。

2014年全国消費実態調査で調査した主要耐久消費財のうち、2人以上の世帯について1000世帯当たりの所有数量をみると、神奈川県ではルームエアコンの2746台が最も多く、次いでたんすの2493台となっており、これらの耐久消費財は1世帯平均2台以上を所有しています。

この統計は [平成26年全国消費実態調査]

用語 所有数量、増加率、普及率

所有数量は1000世帯当たりの所有数です。家庭で利用する物のみの集計で事業用に所有しているものは含めません。増加率は2014年を2009年と比べたものです。普及率は調査対象世帯のうち、当該耐久消費財を1台以上所有している世帯の割合です。なおここに掲載の数値は2人以上の世帯のものです。

温水洗浄便座の普及率 71.7% 3-32
床暖房の所有数量 1000世帯当たり1829畳 3-33

指標 耐久消費財のうち、県により普及率の差が大きい温水洗浄便座(2014年調査では、1989年(平成元年)以降に取得したものに限定して調査。洗浄用の温水が出て、腰をかける部分が保温できる便座であり、乾燥、脱臭機能がついているものも含む。)について、神奈川の普及率は71.7%で全国第23位でした。

床暖房は1000世帯当たり1829畳で全国第3位です。耐久消費財の所有数量の単位は「台」ですが、床暖房の単位は「畳」となっています。床暖房は2014年調査の新規調査品目で、他に2014年に新規調査対象となったものとしては、ホームベーカリー、LED照明器具(電球・蛍光灯を除く)、電動アシスト自転車、カーナビゲーションシステム、スマートフォン、ホームシアター、タブレット端末などがあります。

この統計は [平成26年全国消費実態調査]

高効率給湯器の所有数量 1000世帯当たり178台 3-34
IHクッキングヒーターの普及率 13.8% 3-35

指標 耐久消費財のうち、今回初めて県単位の値が公表された高効率給湯器(2014年調査では、持ち家で1989年(平成元年)以降に取得したものに限定して調査)について、神奈川の1000世帯当たりの所有数は178台で全国第43位でした。

なお、神奈川県で所有数量の増加率が高い耐久消費財のうちIHクッキングヒーターについて、普及率は13.8%で全国第45位となっています。

この統計は [平成26年全国消費実態調査]

ルームエアコンの所有数量 1000世帯当たり2746台 3-36
空気清浄機の所有数量 626台 3-37

指標 神奈川県で所有数量の多い耐久消費財のうちルームエアコンについて、神奈川の1000世帯当たりの所有数は2746台で全国第32位です。

また、神奈川県で所有数量の増加率が最も高かった耐久消費財である空気清浄機について、神奈川の1000世帯当たりの所有数は626台で全国第3位です。空気清浄機は2009年調査でも515台で全国第2位となっており、神奈川の所有数量の全国順位が高く、増加率も高い耐久消費財となっています。

この統計は [平成26年全国消費実態調査]

神奈川県で所有数量の増加率が高い耐久消費財(上位) (2014年)

| 品 目 | 所有数量(台) | | 増加率 (%) |
|----------------|---------|-------|------------|
| | 2009年 | 2014年 | |
| 空気清浄機 | 515 | 626 | 21.6 |
| サイドボード・リビングボード | 541 | 641 | 18.5 |
| ベッド・ソファベッド ※ | 1,250 | 1,464 | 17.1 |
| 食器洗い機 | 245 | 283 | 15.5 |
| IHクッキングヒーター | 121 | 135 | 11.6 |

※ 作り付けを除く。

2014年調査と、その5年前の2009年調査の結果と比較可能な耐久消費財について、所有数量の増加率をみると、神奈川県で最も高いものは空気清浄機で、1000世帯当たり所有数量は21.6%増加しました。増加率について上位5位までの耐久消費財は、10%を超える増加率となっています。

統計情報 全国消費実態調査

平成26年全国消費実態調査 [総務省統計局]
公表日：2015.7.31～順次公表済 公表周期：5年ごと
家計の構造を「所得」、「消費」及び「資産」の3つの側面から総合的に把握することを目的として、家計の収支と貯蓄・負債の状況及び耐久消費財の所有状況などの家計資産を

総合的に調査しています。
所有数量や普及率はこの調査のうち「主要耐久消費財に関する結果」として公表されています。ほかに、「家計収支及び貯蓄・負債に関する結果」、「家計資産に関する結果」などがあります。

●温水洗浄便座の普及率 3-32

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------------|------|----|-------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 70.6 | 23 | 神奈川 | 71.7 |
| 1 | 滋 賀 | 83.1 | 38 | 大 分 | 64.9 |
| 2 | 福 井 | 80.3 | 39 | 山 口 | 64.2 |
| 3 | 富 山 | 79.5 | 39 | 佐 賀 | 64.2 |
| 4 | 石 川 | 79.3 | | | |
| 5 | 新 潟 | 78.1 | 41 | 宮 崎 | 63.0 |
| | | | 42 | 青 森 | 60.9 |
| 6 | 岐 阜 | 76.9 | 43 | 岩 手 | 60.6 |
| 7 | 長 野 | 74.8 | 44 | 鹿 児 島 | 60.3 |
| 8 | 三 重 | 74.5 | 45 | 長 崎 | 58.4 |
| 9 | 栃 木 | 74.4 | | | |
| 9 | 埼 玉 | 74.4 | 46 | 高 知 | 53.7 |
| 9 | 奈 良 | 74.4 | 47 | 沖 縄 | 28.0 |

平成26年全国消費実態調査

●床暖房の所有数量 3-33

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------------|-------|----|-------|-----|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 1,307 | | | |
| 1 | 東 京 | 2,557 | 38 | 愛 媛 | 337 |
| 2 | 秋 田 | 2,039 | 39 | 香 川 | 327 |
| 3 | 神奈川 | 1,829 | 40 | 長 崎 | 319 |
| 4 | 北海道 | 1,775 | | | |
| 5 | 長 野 | 1,769 | 41 | 鹿 児 島 | 309 |
| | | | 42 | 佐 賀 | 308 |
| 6 | 滋 賀 | 1,701 | 43 | 山 口 | 302 |
| 7 | 群 馬 | 1,660 | 44 | 大 分 | 192 |
| 8 | 大 阪 | 1,552 | 45 | 高 知 | 148 |
| 9 | 愛 知 | 1,550 | | | |
| 10 | 新 潟 | 1,452 | 46 | 宮 崎 | 97 |
| | | | 47 | 沖 縄 | 18 |

平成26年全国消費実態調査

●高効率給湯器の所有数量 3-34

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------------|-----|----|------|-----|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 232 | | | |
| 1 | 福 井 | 368 | 38 | 福 島 | 207 |
| 2 | 滋 賀 | 346 | 39 | 千 葉 | 198 |
| 3 | 和歌山 | 344 | 40 | 山 形 | 194 |
| 4 | 佐 賀 | 329 | | | |
| 5 | 徳 島 | 326 | 41 | 東 京 | 189 |
| | | | 42 | 新 潟 | 186 |
| 6 | 岡 山 | 321 | 43 | 神奈川 | 178 |
| 7 | 香 川 | 314 | 44 | 秋 田 | 145 |
| 8 | 鳥 取 | 313 | 45 | 青 森 | 119 |
| 9 | 熊 本 | 303 | | | |
| 10 | 奈 良 | 297 | 46 | 北海道 | 117 |
| | | | 47 | 沖 縄 | 69 |

平成26年全国消費実態調査

●IHクッキングヒーターの普及率 3-35

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 23.9 | | | |
| 1 | 福 井 | 49.0 | 38 | 岩 手 | 23.2 |
| 2 | 和歌山 | 46.0 | 39 | 京 都 | 22.7 |
| 3 | 石 川 | 44.9 | 40 | 愛 知 | 20.2 |
| 4 | 徳 島 | 43.1 | | | |
| 5 | 富 山 | 42.9 | 41 | 埼 玉 | 19.9 |
| | | | 42 | 大 阪 | 19.1 |
| 6 | 滋 賀 | 41.8 | 43 | 青 森 | 17.2 |
| 7 | 岡 山 | 41.0 | 44 | 千 葉 | 16.3 |
| 8 | 香 川 | 40.7 | 45 | 神奈川 | 13.8 |
| 8 | 佐 賀 | 40.7 | | | |
| 10 | 広 島 | 37.0 | 46 | 沖 縄 | 13.3 |
| | | | 47 | 東 京 | 11.2 |

平成26年全国消費実態調査

●ルームエアコンの所有数量 3-36

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------------|-------|----|------|-------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 2,723 | 32 | 神奈川 | 2,746 |
| 1 | 徳 島 | 3,849 | 38 | 宮 崎 | 2,238 |
| 2 | 香 川 | 3,802 | 39 | 山 梨 | 2,083 |
| 3 | 福 井 | 3,797 | 40 | 沖 縄 | 1,963 |
| 4 | 和歌山 | 3,616 | | | |
| 5 | 滋 賀 | 3,523 | 41 | 福 島 | 1,717 |
| | | | 42 | 秋 田 | 1,706 |
| 6 | 三 重 | 3,457 | 43 | 宮 城 | 1,686 |
| 7 | 奈 良 | 3,437 | 44 | 長 野 | 1,320 |
| 8 | 岡 山 | 3,408 | 45 | 岩 手 | 1,183 |
| 9 | 富 山 | 3,353 | | | |
| 10 | 京 都 | 3,251 | 46 | 青 森 | 1,044 |
| | | | 47 | 北海道 | 344 |

平成26年全国消費実態調査

●空気清浄機の所有数量 3-37

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|----------|------------|-----|----|------|-----|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | 全 国 | 554 | | | |
| 1 | 東 京 | 670 | 38 | 山 梨 | 435 |
| 2 | 奈 良 | 639 | 39 | 長 野 | 426 |
| 3 | 神奈川 | 626 | 40 | 福 島 | 424 |
| 4 | 埼 玉 | 614 | | | |
| 5 | 滋 賀 | 612 | 41 | 秋 田 | 416 |
| | | | 42 | 鳥 取 | 402 |
| 6 | 栃 木 | 611 | 43 | 宮 崎 | 398 |
| 7 | 三 重 | 601 | 44 | 青 森 | 390 |
| 8 | 兵 庫 | 587 | 45 | 岩 手 | 370 |
| 9 | 大 阪 | 580 | | | |
| 10 | 愛 知 | 578 | 46 | 沖 縄 | 365 |
| 10 | 和歌山 | 578 | 47 | 島 根 | 362 |

平成26年全国消費実態調査

注釈

3-32~35

- 1) 2014年10月末日現在の値。
- 2) 2人以上世帯の全世帯の調査結果を掲載している。
- 3) 持ち家の世帯のみを集計している。

3-36, 3-37

- 1) 2014年10月末日現在の値。
- 2) 2人以上世帯の全世帯の調査結果を掲載している。

耐久消費財に含めるもの

- ・ 家計用として使っているもの
- ・ 別荘などにあるもの
- ・ 中古で購入したもの及び他人からもらったもの
- ・ 現品は手元にはないが、購入契約済みのもの
- ・ ステレオ、家具などで手製のもの
- ・ 他人に貸しているもの又は預けてあるもの

耐久消費財に含めないもの

- ・ 事業用のもの
- ・ 家計用と事業用の共用で、主として事業用のもの
- ・ 他人から借りているもの又は預かっているもの
- ・ 故障、破損などのため、使用できないもの
- ・ 使い古して、今後使用する見込みがないもの

LED照明器具の普及率

3-38

36.0%

指標 2014年に新たに調査対象となったLED照明器具について、神奈川の普及率は36.0%で全国第7位となっています。ここでは、従来の白熱電球、蛍光灯用の照明器具にLED電球・LED蛍光灯を取り付けたものは含めず、シーリングライトなどを指します。

この統計は [平成26年全国消費実態調査]

自動車の所有数量

1000世帯
当たり917台 3-39

カーナビゲーションシステムの普及率 59.5% 3-40

指標 自動車について、神奈川の1000世帯当たりの所有数量は917台で全国第45位となっています。

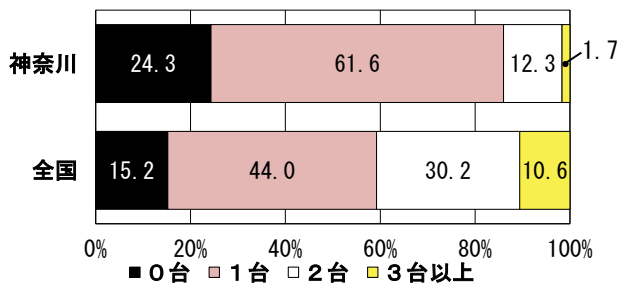
新たに調査対象となったカーナビゲーションシステムの神奈川の普及率は59.5%で全国第30位となっています。

この統計は [平成26年全国消費実態調査]

自動車の所有数量別集計（1000世帯当たり）

| 所有数量 | 全国 | 神奈川 | 1位 | 47位 |
|------|-------|-----------|----------|--------|
| 合計 | 1,377 | 917 (45位) | 山形 2,111 | 東京 665 |
| 1台 | 440 | 616 (1位) | 神奈川 616 | 福井 203 |
| 2台 | 604 | 247 (45位) | 栃木 1,021 | 東京 128 |
| 3台 | 333 | 54 (45位) | 山形 993 | 東京 26 |

自動車の所有数量別世帯割合（2014年）

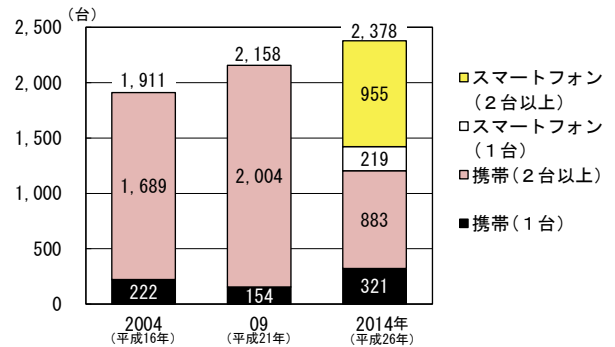


自動車を所有する世帯を所有台数別に集計すると、1台所有している世帯は、自動車を所有する世帯全体の61.6%（全国は44.0%）で全国第1位、2台所有する世帯が12.3%（全国は30.2%）で全国第45位、3台以上所有する世帯が1.7%（全国は10.6%）で全国第45位です。神奈川は1台のみ所有している世帯の割合が多く、複数台所有している世帯は著しく少なくなっています。

トピックス 全国消費実態調査－1世帯当たり1か月間の家計収支

| 二人以上の世帯のうち 勤労者世帯（全国） | 2009年 | 2014年 | 実質増減率 |
|-------------------------|-----------|-----------|-------|
| 実収入 | 482,845 円 | 484,714 円 | -3.5% |
| 可処分所得 | - | 400,194 | - |
| 消費支出 | 320,128 | 313,747 | -5.8 |
| 平均消費性向 | 81.4% | 78.4% | - |

携帯電話・スマートフォンの所有数量の推移



※ 平成21年以前の調査では、「携帯電話（PHSを含む）」として、型式を問わず調査している。

スマートフォンの所有数量

1000世帯
当たり1175台 3-41

指標 新たに調査対象となったスマートフォンについて、神奈川の1000世帯当たりの所有数量は1175台で全国第7位となっています。

この統計は [平成26年全国消費実態調査]

パソコン（ノート型）の所有数量
タブレット端末の所有数量

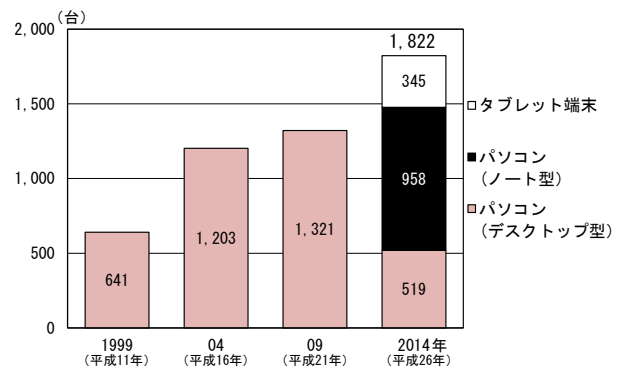
1000世帯
当たり 958台 3-42
3-43
345台

指標 2014年のパソコン（ノート型（モバイル・ネットブックを含む））について、神奈川の1000世帯当たり所有数量は958台で全国第6位となっています。

新たに調査対象となったタブレット端末について、神奈川の1000世帯当たり所有数量は345台で全国第2位となっています。

この統計は [平成26年全国消費実態調査]

パソコン・タブレットの所有数量の推移



※ 平成21年以前の調査では、「パソコン」として、型式を問わず調査している。

トピックス 平成26年全国消費実態調査－1世帯当たり家計資産の内訳

| 二人以上の世帯（全国） | 資産額 | 構成比 | 2009年比 |
|-------------|----------|--------|--------|
| 家計資産 | 3,491 万円 | 100.0% | -2.7% |
| 金融資産（貯蓄－負債） | 1,039 | 29.8 | 9.7 |
| 住宅・宅地資産 | 2,324 | 66.6 | -7.6 |
| 耐久消費財等資産 | 128 | 3.7 | 0.8 |

●LED照明器具の普及率 3-38

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|------------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | % | | | % |
| 全 国 | | 33.0 | | | |
| 1 | 奈良 | 38.7 | 38 | 熊本 | 27.9 |
| 2 | 滋賀 | 37.7 | 38 | 宮崎 | 27.9 |
| 3 | 兵庫 | 37.2 | 40 | 福島 | 27.6 |
| 4 | 埼玉 | 36.8 | | | |
| 5 | 東京 | 36.4 | 41 | 新潟 | 26.7 |
| | | | 42 | 長野 | 26.4 |
| 6 | 栃木 | 36.3 | 42 | 高知 | 26.4 |
| 7 | 神奈川 | 36.0 | 44 | 岩手 | 24.5 |
| 8 | 愛知 | 35.4 | 45 | 秋田 | 23.1 |
| 9 | 千葉 | 35.3 | | | |
| 10 | 佐賀 | 34.3 | 46 | 青森 | 21.4 |
| | | | 47 | 沖縄 | 17.4 |

平成26年全国消費実態調査

●自動車の所有数量 3-39

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|------------|------|-------|----|------|-------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 台 | | | 台 |
| 全 国 | | 1,377 | | | |
| 1 | 山形 | 2,111 | 38 | 奈良 | 1,353 |
| 2 | 福井 | 2,101 | 39 | 福岡 | 1,352 |
| 3 | 富山 | 2,057 | 40 | 北海道 | 1,325 |
| 4 | 長野 | 1,969 | | | |
| 5 | 岐阜 | 1,960 | 41 | 埼玉 | 1,190 |
| | | | 42 | 千葉 | 1,188 |
| 6 | 鳥取 | 1,954 | 43 | 兵庫 | 1,144 |
| 7 | 茨城 | 1,948 | 44 | 京都 | 1,073 |
| 8 | 山梨 | 1,938 | 45 | 神奈川 | 917 |
| 9 | 徳島 | 1,925 | | | |
| 10 | 群馬 | 1,903 | 46 | 大阪 | 843 |
| | | | 47 | 東京 | 665 |

平成26年全国消費実態調査

●カーナビゲーションシステムの普及率 3-40

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|------------|------|------|----|------|------|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | % | | | % |
| 全 国 | | 61.0 | 30 | 神奈川 | 59.5 |
| 1 | 茨城 | 76.9 | 38 | 鹿児島 | 55.0 |
| 2 | 栃木 | 74.2 | 39 | 秋田 | 54.3 |
| 2 | 愛知 | 74.2 | 40 | 大阪 | 53.5 |
| 4 | 福井 | 72.8 | | | |
| 5 | 三重 | 72.0 | 41 | 島根 | 52.9 |
| | | | 42 | 北海道 | 51.0 |
| 6 | 静岡 | 71.6 | 43 | 高知 | 50.0 |
| 7 | 滋賀 | 71.4 | 44 | 青森 | 49.3 |
| 8 | 岐阜 | 71.1 | 45 | 東京 | 48.5 |
| 9 | 群馬 | 69.7 | | | |
| 10 | 富山 | 69.0 | 46 | 長崎 | 44.6 |
| | | | 47 | 沖縄 | 20.6 |

平成26年全国消費実態調査

●スマートフォンの所有数量 3-41

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|------------|------|-------|----|------|-----|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 台 | | | 台 |
| 全 国 | | 1,105 | | | |
| 1 | 滋賀 | 1,281 | 38 | 沖縄 | 954 |
| 2 | 東京 | 1,275 | 39 | 鳥取 | 944 |
| 3 | 奈良 | 1,230 | 40 | 秋田 | 921 |
| 4 | 愛知 | 1,216 | | | |
| 5 | 京都 | 1,208 | 41 | 岩手 | 909 |
| | | | 42 | 大分 | 892 |
| 6 | 埼玉 | 1,178 | 43 | 高知 | 873 |
| 7 | 神奈川 | 1,175 | 44 | 北海道 | 865 |
| 8 | 大阪 | 1,171 | 45 | 山口 | 849 |
| 9 | 茨城 | 1,166 | | | |
| 10 | 福井 | 1,160 | 46 | 青森 | 848 |
| | | | 47 | 島根 | 826 |

平成26年全国消費実態調査

●パソコン(ノート型)の所有数量 3-42

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|------------|------|-------|----|------|-----|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 台 | | | 台 |
| 全 国 | | 872 | | | |
| 1 | 滋賀 | 1,072 | 38 | 愛媛 | 738 |
| 2 | 東京 | 1,035 | 39 | 熊本 | 733 |
| 3 | 福井 | 983 | 40 | 秋田 | 727 |
| 4 | 富山 | 975 | | | |
| 5 | 京都 | 962 | 41 | 北海道 | 712 |
| | | | 41 | 大分 | 712 |
| 6 | 神奈川 | 958 | 43 | 鹿児島 | 681 |
| 7 | 山形 | 940 | 44 | 宮崎 | 678 |
| 8 | 新潟 | 936 | 45 | 高知 | 630 |
| 9 | 兵庫 | 934 | | | |
| 10 | 奈良 | 928 | 46 | 青森 | 559 |
| | | | 47 | 沖縄 | 527 |

平成26年全国消費実態調査

●タブレット端末の所有数量 3-43

| 2014年 上位 | | | 下位 | | |
|------------|------|-----|----|-------|-----|
| 順位 | 都道府県 | 値 | 順位 | 都道府県 | 値 |
| | | 台 | | | 台 |
| 全 国 | | 272 | | | |
| 1 | 東京 | 386 | 37 | 宮城、長崎 | 200 |
| 2 | 神奈川 | 345 | 39 | 熊本 | 199 |
| 3 | 福井 | 333 | 40 | 山口 | 198 |
| 4 | 京都 | 308 | | | |
| 5 | 愛知 | 304 | 41 | 鹿児島 | 188 |
| | | | 42 | 宮崎 | 182 |
| 6 | 静岡 | 295 | 43 | 愛媛 | 181 |
| 6 | 大阪 | 295 | 44 | 高知 | 172 |
| 8 | 奈良 | 288 | 45 | 岩手 | 166 |
| 9 | 千葉 | 285 | | | |
| 10 | 埼玉 | 282 | 45 | 秋田 | 166 |
| | | | 47 | 青森 | 149 |

平成26年全国消費実態調査

注釈

3-38~3-43

- 1) 2014年10月末日現在の値。
- 2) 2人以上世帯の全世帯の調査結果を掲載している。
- 3) 所有数量に含める基準は前ページの注釈参照。

3-38

- 1) 電球・蛍光灯を除く。

3-42

- 1) モバイル・ネットブックを含む。

県民生活編からのクイズ

かながわ Q&A



Q 1 通勤・通学をする神奈川県民の、平均通勤・通学時間は？（2016年）

- ① 70分台
- ② 90分台
- ③ 100分台

Q 2 神奈川の女性の平均育児時間は全国第何位？（2016年）

- ① 1位
- ② 2位
- ③ 3位

Q 3 1年間にスポーツをした神奈川県民の割合は何%？（2016年）

- ① 72.4%
- ② 68.8%
- ③ 56.0%

Q 4 1年間に神奈川県民が行ったボランティア活動の中で、最も割合の大きいものは？（2016年）

- ① まちづくりのための活動
- ② 子供を対象とした活動
- ③ 高齢者を対象とした活動

Q 5 1年間に神奈川の宿泊施設に宿泊した人の延べ人数はおよそ何人？（2016年）

- ① 1900万人
- ② 3100万人
- ③ 5800万人

Q 6 神奈川の持ち家住宅の延べ面積は全国第何位？（2013年）

- ① 26位
- ② 36位
- ③ 46位

Q 7 神奈川の人口1000人当たりの小売店数は？（2014年）

- ① 11.19店
- ② 8.07店
- ③ 5.78店

Q 8 神奈川の12時間当たりの平均交通量は何台？（2015年）

- ① 5986台
- ② 1万962台
- ③ 1万5881台

Q 9 耐久消費財の1000世帯当たり所有数で、神奈川が全国第3位以内のもの組み合わせは？（2014年）

- ① 高効率給湯器、ルームエアコン
- ② 床暖房、タブレット端末
- ③ 温水洗浄便座、スマートフォン

統計調査に
ご協力を♪



答えは86ページ